

第3次総合計画策定に向けた市民ワークショップ

「ふなば Ship ミーティング」

## 第2回ワークショップ結果

強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組の検討

(令和元年6月8日)

# 健康・福祉グループ

分野	強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組
① 健康福祉全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>● より良い老後に向けた自助努力や自己啓発を促進するため、情報の提供・発信を充実する</li> <li>● ひきこもりの人や悩める親や家族を支援するため、広報などで情報発信や相談窓口の工夫をする</li> <li>● 地域包括支援センターを知らない市民が多いため、町会を活用して情報発信をする</li> <li>● 福祉などの情報が必要で助けを望む市民のため、市役所の職員の丁寧で親切な対応を大切にする（解決策や気持ちが救われる）</li> <li>● 子どもの頃から福祉への理解を進めるため、福祉教育の機会を増やす</li> <li>● 福祉関係のイベントや災害時の支え手を確保するため、ボランティアを育成する</li> <li>● 地域住民同士の橋渡し役を確保するため、民生委員に対するサポート体制の充実を図る</li> <li>● まちを支える力を確保するため、若い人たちが住みたいと思える環境の良いマンションや住居を増やす</li> </ul>
② 地域福祉・高齢者福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ひとり暮らしの高齢者が増えるため、地域での見守りと交流を活発化する</li> <li>● ひとり暮らしの高齢者が多いため、地域ぐるみによる見守りを行う</li> <li>● 高齢者が活動する場を増やすため、情報提供を充実する</li> <li>● 老老介護が増加しているため、福祉人材の処遇を改善し人数を増やす</li> <li>● 自宅での介護が難しいひとり暮らしの高齢者のため、年金生活者でも入居できる介護施設を提供（確保）する</li> <li>● なかなか外に出ていかない高齢者のため、交通の利便性の良さを活用する</li> <li>● 高齢者が安心した生活を送ることができるようにするため、福祉サービスを利用しやすくする</li> </ul>
③ 健康・医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民が安心して生活できるようにするため、ホームドクター（かかりつけ医）を持てる病院を増やす</li> <li>● 生き生きと暮らせるようにするため、自助努力をする</li> <li>● 元気な高齢者を増やすため、健康体操など身近な場所で活動に取り組めるようにする</li> </ul>

分野	強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組
④ 障害者福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>● (一般企業に雇用されている) 自立している知的障害者の老後の居場所を確保するため、市近郊に障害者のための介護施設(市所管)を整備する</li> <li>● 障害者の自立後の老後の生活を支えるため、一般老人介護施設への入所を可能にするとともに、当該施設に障害者専門の担当員を配置する</li> <li>● 最近10年間で高齢者への配慮が浸透した半面、障害者への関心や配慮が希薄になっているため、障害者福祉への配慮をする</li> <li>● 障害者の暮らしを支えるため、ショートステイサービスを提供する</li> <li>● 身体の不自由な方を支えるため、ファミリーサポートやボランティアの方の介護やリハビリテーションに取り組む</li> </ul>
⑤ その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民が入所を希望する保育所を増やすため、既存の市の支援制度を利用して、企業内保育所等の設置を拡充する</li> <li>● 災害時の動物の居場所を確保するため、各地域に飼い主と動物と一緒に避難できる場所を準備する</li> <li>● 「音楽の街 船橋」を象徴する現在の市民文化ホールの老朽化に対応するため、設備の整った新しい市民文化ホールを建設する</li> </ul>

# 教育・子育てグループ

分野	強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組
① 教育環境	<p>＜教育環境の充実・効率化＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教職員の質的向上を図るため、教職の魅力化（教育以外のアウトソーシング）に取り組む</li> <li>● 質の高い学校教育と教員の負担軽減による生き生きした学校生活を実現するため、学校主導のクラブ活動を民間に委託する（特に小学校）</li> <li>● 小中学校の学級数による地域格差を改善するため、多学級・1学級に多数の子供がいる学校は担任数や副担任を増やす。子供が多い学校の部活動においては A チーム・B チームを作る</li> <li>● 学校関連サービスの充実のため、備品購入方法を統一する</li> <li>● 質の高い学校教育を実現し優秀な子供を輩出するため、小中学校で学習優秀者・スポーツ優秀者のクラスを編成する</li> <li>● 船橋からノーベル賞受賞者を輩出するため、優秀な人材の流出防止策を策定する</li> <li>● 優秀な人材を育成し船橋育ちの子供を全国で活躍させるため、小中学校に単位取得制を導入し塾の時間を増加する</li> <li>● 本物を子どもに体験させ内発的動機付けをするため、日本・世界レベルの競技会を船橋で開催する</li> <li>● 生き生きした船橋を目指し学生の集う街にするため、メディカルタウン構想等を活用し大学（医学部・看護師課程）を誘致する</li> <li>● 働く親・先生の負担軽減のため、PTA 活動の見直しをする（シルバー人材の活用）</li> <li>● 先生（学校側）・親双方の効率化のため、諸連絡・情報共有等で ICT をもっと活用する</li> <li>● 子どもの教育環境の充実、ワークライフバランスの実現のため、保護者・地域・学校における新たな仕組みをつくる</li> <li>● PTA 活動の在り方を再検討するため、活動や活動へのアンケートを市や教育委員会に開示し、市民が口を挟める状態にする</li> <li>● ワークライフバランス施策を推進し共働き家庭の住みやすさを向上するため、小学校における PTA 活動を見直す</li> </ul> <p>＜様々な児童・生徒に対する支援の充実＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 外国人・障害児の支援体制の更なる強化のため、広報でもっとアピールし、市外からの通学児を受け入れる</li> <li>● 外国人児童のスムーズな受け入れのため、受入マニュアルを作成する</li> <li>● 外国人・障害児を公平に対応し、子どもたちと積極的に交流してもらうため、イ</li> </ul>

分野	強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組
	<p>インターンシップ制度を採り入れる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 様々な異なる分野についての教育を(外国人児童への対応を含めて)充実させるため、地域に潜在している人脈を活かせる仕組みを作る</li> <li>● 発達障害児への支援体制のため、地域で活かしていない人材を活用する</li> <li>● 発達障害児への支援体制のため、学校でのボランティアを育成する研修の実施、発達支援に関する勉強会等を開催</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">② 子育て環境</p>	<p>&lt;ワークライフバランスの推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市内企業のワークライフバランス No1 にするため、船橋オリジナルのワークライフバランス認定・表彰制度を市で制定する</li> <li>● 市内企業のワークライフバランス優良企業表彰を推進するため、市内企業の労働環境を市が把握する</li> <li>● ワークライフバランスが実現できるよう、社員が休みやすい制度を企業がつくる</li> </ul> <p>&lt;病児保育の充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 共働き家庭におけるワークライフバランスを向上させるため、病児保育施設を増加する</li> <li>● 病児保育施設を増やすため、市の理解・支援を推進する</li> <li>● 病児保育施設の更なる増加のため、病院と連携し保育園内で病児保育を行う</li> </ul> <p>&lt;子どもの居場所の充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 保育所不足、放課後や休日の遊び場不足、放課後ルームのプログラム不十分を解消するため、高齢者施設を開放して共同で遊び、面倒を見る仕組みを新設する</li> <li>● 放課後ルームプログラムを充実させるため、学童職員の声・自主性をもっと尊重する</li> <li>● 放課後ルームプログラムが不十分なため、市民が先生になりプログラムを組む</li> <li>● 子どもたちの遊び場の確保のため、空き地や広場を活用する</li> <li>● 放課後ルームの維持・サービス向上のため、職員の待遇を改善する</li> <li>● いじめの相談窓口や中高生の居場所を増やすため、電話窓口の周知、児童ホーム以外で中高生が気軽に立ち寄れる施設をつくる</li> </ul> <p>&lt;子ども医療費無償化の拡充&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 全ての子どもが平等に医療を受けられる健康な都市づくりのため、中学生まで医療費を無償とする</li> </ul> <p>&lt;子ども安全の確保&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 幼児・小学生の安全性を向上し生きる力を付与するため、地域防災マネージャーを割り当て、保育園・幼稚園・小学校単位に防災マニュアルを作成・実行検証する</li> </ul>

分野	強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組
③ その他	<p>&lt;通学路の整備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学生の安全を確保し安全で安心な街づくりのため、通学路の整備を最優先に実施する</li> <li>● 通学路の安全確保のため、ガードレールを設置する（特に交差点）</li> </ul> <p>&lt;観光振興&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● シーズン中の観光スポットの駐車場不足解消のため、周辺企業の敷地を開放し駐車場スペースを増やす</li> <li>● 観光客を呼び込み、活気あふれる町にするため、北部＝山遊び、中部＝ショッピング、南部＝海沿いエリアといったゾーン化し開発、回遊化する</li> </ul> <p>&lt;防災&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害発生時に開設した避難所を閉め早期に授業再開するため、避難所の運営要領を再考する</li> <li>● 災害時の生命維持機能を確保するため、自治会・学校・避難所の防災倉庫を一元管理する</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小中学校学級数の地域格差を改善するため、企業誘致を促進、商業施設を設置する</li> <li>● 外国人労働力を活用し海外に開かれた外国人の住みやすい町にするため、外国人定着プログラムを作成・実行する</li> </ul>

# 市民活動・経済グループ

分野	強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組
① 商業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大きなものや特別なものも都内等に行かずに市内で購入できるようにするため、定期的な特別市を開催する【☆】</li> <li>●都内通勤者のベッドタウン化を脱するため、企業を誘致する【☆】</li> <li>●10～20年後、高齢者を買い物難民にしないため、循環マーケットなる配送車を企画する【☆】</li> <li>●地域内経済循環を高めるため、ブランド作りに注力する（例えば、いきものブランド米など）</li> <li>●デイリーな買い物を便利にするためショップリストを作る</li> <li>●閉店店舗等が放置されないようにするため、公共的カフェ等に貸し出す施策を強化する</li> <li>●西武跡地利用の計画を有効化するため、都内にショッピングに行くことが少ない横浜に倣い、大型書店・地下街を拡大する</li> <li>●外から人をよびこむため、空き家のリノベーション事業をする</li> </ul>
② 観光	<p>&lt;売りの明確化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地元振興を高めるため、「船橋学」を体系化する【☆】</li> <li>●古き良きものを見直すため、どんな資源があるか見直しをする</li> <li>●市としての売りを明確にするため、なんでもあるイベントを行い、市として売り出すNo.1を決める</li> </ul> <p>&lt;PRの充実&gt;【☆】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●観光資源はあるのにPRが弱いため、地域を表現するフレーズを考案(〇〇のまち)する</li> <li>●観光資源はあるのにPRが弱いため、観光地・集客したい場所へのアクセスを充実する</li> <li>●PR活動の強化のため、船橋のアプリ開発、SNSによる発信をする</li> <li>●おいしいものをPRするため、新しいお菓子(料理)を開発する</li> </ul> <p>&lt;歴史・文化の活用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●東京にいかなくても文化的満足感を得るため、“船橋宿”のにぎわいを感じる文化拠点を作る【☆】</li> <li>●船橋宿旧街道の賑わいのため、大神宮から約1kmで「歩行者天国」を実施する</li> <li>●船橋宿旧街道沿い神社・寺の魅力発信のため、「御朱印張」等のツールを提供する</li> <li>●観光客を増やすため、三山???ロードなどの聖地をロケ地にする</li> </ul>

分野	強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組
② 観 光	<p>＜海の活用＞【☆】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ウォーターフロントの街 横浜に倣い市民が港に集うようにするため、美しい環境に改善（親水公園の充実）する</li> <li>●ウォーターフロントの環境を活かすため、「しらせ」「ビール園」を含む循環バス路線を設置する</li> <li>●「SHIRASE」を観光スポットにするため、船橋の産業品の店やゆるキャラを増やす</li> <li>●ウォーターフロントの活性化のため客船・フェリー等の寄航を誘致する</li> <li>●臨海の食品団地に停泊している「しらせ」のアクセス改善のため、船橋港の親水公園に「しらせ」を移動し見学利便性をアップする</li> </ul> <p>＜自然（エコツーリズム）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●豊富な自然資源を活用するため、エコツーリズムを実施する</li> </ul> <p>＜アクセス＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自転車でも市内巡りができるように、まずは駅に貸し自転車、そしてどこでも返せる仕組みを確立する</li> <li>●エコな自転車を市民誰でも活用できるように、自転車道路の完備、標識、乗り方勉強会の開催などを推進する</li> <li>●「こどもの国」アクセス線（こどもの国線）がある横浜に倣い船橋アンデルセン公園のアクセスを改善するため、鉄道駅とアクセス線を整備する</li> <li>●回遊性創出のため市民に人力車を貸し出す</li> </ul> <p>＜食＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●船橋宿旧街道の賑わいのため、食べ歩きし易い環境となるようなごみ箱やベンチなどを設置する</li> <li>●ウォーターフロントの食品団地の企業の地元密着のため、食材提供を活用した「グルメ祭（案）」を企画する</li> <li>●船橋ブランドの農産物・海産物のアピールのため、各公民館の調理室で市民参加の料理教室を行う</li> </ul> <p>＜自治会活動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自治会長のなり手を増やすため、仕事の洗い出しと取り捨てる【☆】</li> <li>●自治会の活性化のため、町内等のイベントを開催する【☆】</li> </ul>

分野	強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組
③ コミュニティ活動	<p>＜交流機会の創出＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 外国の方に楽しく働いてもらうため、にぎわい拠点を利用して年に何回かイベントを企画する【☆】</li> <li>● 増加しつつあるマンション住民の交流機会を増やすため、フリーマーケット等の企画を駅前イベント化する</li> <li>● コミュニティ活動を強化（住民同士の関わり強化）するため、屋台や模擬店を展開した飲み屋街イベント企画をする</li> <li>● 船橋が地元の住民とマンション等への転入住民の交流のため、高層マンションの眺望を共有したり、フリマを開催する</li> <li>● 増加しつつあるマンション住民の交流と互助のため、マンション集会室のカフェ活用を促進する</li> <li>● 町内会、自治会のなり手不足解消のため、日ごろから小さな単位での催事（地域の公園など利用）を市の支援で実行する</li> <li>● 市民活動を増やすため、子どもの作品展を開催する</li> <li>● 世代間交流を活発にするため、市民が活動に参加しやすい日時に設定する</li> <li>● 「きらきらめがね」に続いて映画をつくるため、市民ボランティアなどで景観維持活動をする</li> <li>● 花いっぱい市をアピールするため、子どもと高齢者の交流会を増やす</li> </ul>
④ 文化・スポーツ	<p>＜スポーツ：主にバスケットボール＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 千葉ジェッツを軸としたバスケットブームを活用するため、ストリートバスケットイベントを（歩行者天国で）実施する【☆】</li> <li>● 千葉ジェッツを軸としたバスケット熱のさらなる活用のため、ストリートバスケットコートを設置する【☆】</li> <li>● スポーツ、音楽祭の大イベントの受け入れや、アクセスの容易化をするため、大アリーナを駅の近いところに建設する</li> <li>● 市民の運動の場をつくるため、「船橋スポーツランド」を建設する</li> </ul> <p>＜音楽＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 音楽の市を印象付けるため、音楽の日（大小いろんな催しが集まったもの）を設定する【☆】</li> </ul>

分野	強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組
④文化・スポーツ	<p>＜アカデミック＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生の交流が少なくアカデミックさもないため、学生対象のコンペティションを開催する【☆】</li> <li>● 大学生の活動を増やすため、大学を作って公募型支援事業を充実させる</li> </ul> <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 文化、文学をアピールするため、「二重川のかわせみ」を有名作家に書いてもらう</li> <li>● 公共施設が充実しているため、イベント等の開催・有名人を招待する</li> </ul>
⑤住環境(まちづくり)	<p>＜まちづくり＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者、シニアカーの往来の支障を無くすため、歩道の段差をなくしフェンスをポスト化する</li> <li>● 自転車の逆走や危険な歩道走行を無くすため、自転車レーンを充実する</li> <li>● 高齢者のみならず市民の休息のため、木陰付きベンチを増設する</li> <li>● 市税を増やすため、船橋Tシャツやたばこを市役所で販売する</li> <li>● 生活困難な高齢世帯支援のため、少額でも金銭をいただき支援できる人を増やす</li> </ul>

# 都市整備・環境グループ

分野	強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組
①道路インフラ (車道・歩道・公共交通)	<p>＜幹線道路や鉄道連続立体交差の建設＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市内の交通事情を改善するため、幹線道路の整備や鉄道の連続立体化工事を推進する</li> <li>● 北部地域と南部地域の交通アクセス機能を高めるため、南北縦断バイパス道路を整備する</li> <li>● 京成線の踏切の渋滞を解消するため、鉄道の高架化を推進する</li> <li>● 交通渋滞を解消するため、鉄道の地下化・高架化を実施する</li> <li>● 市内への通過交通量を減らすため、高速道路を新設する</li> <li>● 西船橋駅周辺部の交通安全を確保するため、船橋駅や津田沼駅のように、車道と歩道を分離させる</li> <li>● 京成線の踏切の渋滞を解消するため、通行人や自転車利用者のための歩道橋を整備する</li> <li>● 交通渋滞を減らすため、バスベイを設置する</li> </ul> <p>＜交通規制等の実施＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通渋滞を減らすため、市内への通過車両が迂回するよう誘導する</li> <li>● 道路交通の安全確保や交通渋滞を解消するため、交通規制等の導入を図る</li> <li>● 市内への通過交通量を減らすため、迂回路を新設する</li> <li>● 自動車交通量を抑制するため、乗り入れ規制を導入する</li> <li>● 自動車の乗り入れをコントロールするため、車種等による乗り入れ規制を導入する</li> <li>● 自動車交通量を抑制するため、通行可能時間を設定する</li> <li>● 交通渋滞を減らすため、自動車の台数を減らす</li> <li>● 交通渋滞を減らすため、右左折禁止等の通行ルールを変更する</li> <li>● 既存路線の安全性を確保するため、一方通行等の制度上の整備・充実を図る</li> <li>● バスの利用を促進するため、市民等への啓発活動を実施する</li> <li>● 自動車交通量を抑制するため、公共交通（鉄道・バス）の利用を促進する</li> <li>● 駅周辺部に停車する車両を減らすため、送迎車両の待機場所を整備する</li> <li>● 交通渋滞を減らすため、都市計画道路の整備事業を前倒しで実施する</li> </ul>

分野	強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">①道路インフラ (車道・歩道・公共交通)</p>	<p>&lt;歩行者の安全を守る道路整備や装置・システムの設置&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 道路交通の安全性を高めるため、全体的に歩道を拡張する</li> <li>● 道路交通の安全性を高めるため、夜間に暗く危険な道路に街路灯を設置する</li> <li>● 人口増加が顕著な新船橋地区における歩道の安全確保を図るため、早急に歩道側部のガードレール設置を推進する</li> <li>● 既存路線の安全性を高めるため、曲がり角にカーブミラーを設置する</li> <li>● 道路事情を改善するため、車道及び歩道の拡幅を実施する</li> <li>● 自動車交通量を抑制するため、車両1台につき複数以上の人々が乗車するよう啓発を行う</li> <li>● 交通渋滞を減らすため、AI(人工知能)を活用した信号システムを導入する</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 早急に道路整備が必要な地域を明らかにし、速やかに事業を実施するため、路線ごとの優先順位を分析する</li> <li>● 市民に対して道路整備の必要性をアピールするため、道路の現状を把握する</li> <li>● 新たな高速道路を整備するため、市が主体となって国や県、近隣市へアピールを行う</li> <li>● 京成線の高架化を促進するため、市民主体の働きかけを実施する</li> <li>● 橋梁の整備を推進するため、行政への働きかけを行う</li> <li>● 自動車の乗り入れを規制するため、市民主体の活動を促進する</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">②都市計画</p>	<p>&lt;船橋市内の駅前を中心とした市街地再開発の実施&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 船橋駅前の活性化を図るため、土地区画整理事業や市街地再開発事業、旧耐震基準で建築されたビルの取り壊しを実施する</li> <li>● 船橋駅前の活性化を促進するため、条例により風俗店の立地を禁止する</li> <li>● 高齢社会の進展に対応するため、病院を中心とした開発を実施する</li> <li>● 観光など市の核となるランドマークを創出するため、官民連携により大規模施設を整備する</li> <li>● 観光客を誘致するため、複合自然公園化を推進する</li> <li>● 発展が遅れている地区の生活利便性を確保するため、バランスの取れた商業施設の設置を誘導する</li> <li>● 住宅団地の老朽化とそれに伴う少子高齢化を改善するため、バリアフリー化や建替え、商業施設の誘導を図る</li> </ul>

分野	強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組
②都市計画	<p>&lt;利活用を主とした空き家対策の促進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● シャッター通りとなっている商店街活性化のため、若手のデザイナーやクリエイターに安価で活動場所を提供する</li> <li>● 空き家の増加による住環境の悪化を抑制するため、空き家の利活用対策を推進する</li> </ul> <p>&lt;住宅・建築物の耐震化の促進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害に強いまち（強靱化）にするため、住宅・建築物の耐震化を促進する</li> <li>● 災害に強いまちにするため、建替え促進条例を制定する</li> </ul>
③環境	<p>&lt;環境問題に関する積極的な情報発信・注意喚起&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自然災害から市民の情報を守るため、市役所の各課が所管する情報の電子化（IT環境の整備）を推進する</li> <li>● 環境教育を推進するため、県民の森を活用した研修施設を整備する</li> </ul> <p>&lt;ごみのリサイクル率を向上させる施策の実施&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 廃プラスチックのリサイクルを促進するため、ショッピングモール等に回収拠点を設置するとともに、ポイント付与等のインセンティブ制度を導入する</li> <li>● まちの景観の良さや市内に残された緑を守るため、ごみ拾いなどのクリーンアップ作戦や緑を守るためのイベントを開催する</li> <li>● 市全体で環境問題に取り組むため、レジ袋を使わない、ポイ捨てしない、リサイクルの実施等に対する行政の啓発活動の市民の実践活動を推進する</li> <li>● 地球温暖化を防止するため、清掃工場のごみ焼却排熱を有効活用する</li> </ul>
④その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民の運動機会やコミュニティの場を増やすため、運動公園等を活用したスポーツイベントを開催する</li> <li>● 児童・生徒の増加に対応するため、各学校における授業担当のサポーター（ボランティア）を増やす</li> <li>● 財源をねん出するため、市債を発行する</li> <li>● 財源をねん出するため、市長が率先して国や県と交渉を行う</li> <li>● 新たな財源を確保するため、国や県で負担できる事業の有無など支出の見直しを行う</li> <li>● 近隣市との連携を強化するため、市長が働きかけを行う</li> </ul>

# 安全グループ

分野	強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組
① 防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害時市民全員を守るため、備蓄庫・防災倉庫を十分に設置する</li> <li>● 災害時の防災拠点を広めるため、小中高・自治会館等に拠点を拡大する</li> <li>● 防災設備を充実させるため、民間企業等と連携する</li> </ul>
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民が安心して暮らせるため、防災・防犯情報を共有する</li> <li>● 市民が安心して暮らせるため、市役所が発信する情報を市民全員が容易に入手できるようにする</li> <li>● 犯罪を未然に防ぐため、情報を周知する</li> <li>● 災害時の避難ルートを完備するため、避難マップを周知・点検する</li> <li>● 情報を受け取りやすくするため、各家庭に個別受信機を設置する</li> <li>● 防災・防犯の情報共有のため、AI・ICT機器の活用を強化する</li> <li>● 情報の周知・徹底のため、メール配信・LINE等を活用する(今よりもっと実用化する)</li> <li>● 防災・防犯意識を向上するため、幼少期からの教育を授業に組み込む等徹底する</li> <li>● 市民の防犯意識を向上させるため、小学校での防犯教育・訓練の実施を強化する</li> <li>● 小中学生の防災知識を向上させるため、防災教育を実施する</li> <li>● 防災・防犯教育のため、防災レンジャーを作ってイベント・動画発信する</li> </ul>
② 防犯	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防犯環境を充実させるため、市内の危険地域を明確化させる</li> <li>● 犯罪抑止力強化のため、信号機への防犯カメラの増設とネットワーク化する</li> <li>● 地域の防犯力を向上させるため、地域のコミュニティ活動が活発な地区をモデルとし、市・警察・消防・学校・自治会・PTA・商店会等が協働し、防犯に配慮した環境の整備・管理を含めた地域における防犯まちづくりを促進する</li> </ul>
③ 交通安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通ルールの徹底のため、市独自の条例をつくる</li> <li>● 歩行者に安全で安心な居住地区づくりのため、全ての居住道路にゾーン30を適用する</li> <li>● 交通安全の向上のため、ドライブレコーダーを必置にする(補助金等も検討)</li> </ul>
④ その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 消防・救急の重要性を理解してもらうため、消防訓練だけでなく、消防や救急車の必要性等こまめに住民(特に外国人)に呼びかける</li> <li>● 子どもたちの安全のため、広い歩道、スクールゾーン(特に駅前)を整備する</li> <li>● 安全で快適な交通体系の整備のため、まずは交差点の整備、路地の接続を良くする</li> <li>● 消防車両がスムーズに運行するため、道路整備をする</li> <li>● 災害時、消防等が作業しやすいように、細い道・曲がった道を通れるようにする</li> <li>● 地域のコミュニティ力向上のため、学校と周辺自治会の連携を強化する</li> <li>● 外国人と共存するため、転入時にルール説明を徹底する</li> </ul>

